

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒102-8455
 住 所 東京都千代田区二番町8番地8
 氏 名 株式会社 セブン-イレブン(ジャパン)
 代表取締役社長 永松 文彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社セブン-イレブン・ジャパン		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区宮前町8番地20 (セブン-イレブン川崎法務局前店)		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	フランチャイズ方式によるコンビニエンスストア「セブン-イレブン」の展開		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	8,525	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の環境・地球温暖化対策の取組みについては、 下記ホームページにて公表しています。 http://www.sej.co.jp/social/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する口内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 15,736 t-CO ₂ (調) 15,452 t-CO ₂	(実) 15,552 t-CO ₂ (調) 15,271 t-CO ₂	(実) 15,810 t-CO ₂ (調) 15,524 t-CO ₂	(実) 16,505 t-CO ₂ (調) 16,207 t-CO ₂	(実) 17,477 t-CO ₂ (調) 17,160 t-CO ₂
削減率		(実) 1.2 % (調) 1.2 %	(実) -0.5 % (調) -0.5 %	(実) -4.9 % (調) -4.9 %	(実) -11.1 % (調) -11.1 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	床面積当たり		単位		t-CO ₂ /㎡	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値	
排出量 原単位等の値	0.3855	0.3959	0.3895	0.3747	0.3740	
削減率		-2.7 %	-1.0 %	2.8 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	設備機器の省エネ化（新店・改装店等）等の取組みにより排出総量は削減できたが、原単位排出量の削減には至らなかった。引き続き省エネ啓発を図る。
第2年度	第1年度と比べて排出総量は増加したが、原単位排出量は減少した。目標達成に向け、引き続き、設備機器の省エネ化（新店・改装店等）等の取組み、及び、省エネ啓発を図る。
第3年度	新店出店に伴い基準年度に比べCO ₂ 排出量は4.9%増加したが、店舗の省エネ設備への更新及び省エネ施策等を実施したことにより、原単位で2.8%削減することができた。 〈計画期間〉 目標年度値3.0%に対し、第3年度では2.8%と0.2%目標に達しなかった。店舗内の省エネ活動及び太陽光の設置等を進めていたが、目標年度に比べ夏季期間の平均温度が上昇したことにより空調使用量が増え目標達成が出来なかった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

省エネ法で求められる原単位あたり年1%のエネルギー使用効率を改善する目標に対し、本年度は昨年度に比べて原単位排出量が3.7%改善したが、店舗の設備増加等により目標値に0.2%削減が足りず達成できなかった。 来年度の新規計画時には設備の省エネ及び従業員一人一人が省エネ意識を持って取りめる体制作りを行い、計画を達成できるよう取り組んでいく。
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該 当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気調和設備・換気設備を省エネ型に更新(該当店) ・ 空調機の点検・清掃の徹底 ・ 加盟店及び本部社員向けの環境教育 ・ 立地環境を勘察した上で店舗屋上に太陽光パネルを設置 ・ 店頭看板・サインポール・売場照明等のLED化(継続)
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加盟店及び本部社員向けの省エネ啓発、環境教育の実施 ・ 空調機の定期点検・清掃の実施 ・ 太陽光パネル設置(5店) ・ 照明LED化(店頭看板14店・サインポール12店・売場照明18店)
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加盟店及び本部社員向けの省エネ啓発、環境教育の実施 ・ 空調機の定期点検・清掃の実施 ・ 太陽光パネル設置(3店) ・ 照明LED化(店頭看板11店・サインポール7店・売場照明9店)
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加盟店及び本部社員向けの省エネ啓発、環境教育の実施 ・ 空調機の定期点検・清掃の実施 ・ 太陽光パネル設置(3店) ・ 照明LED化(累計210店に設置)
自動車等 (第3号該 当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

セブン-イレブンでは、創エネを目的として設置可能な店舗へ太陽光パネルを設置している。
 (発電分は全量自家消費)
 今後も立地や発電見込み量等を考慮し、設置店舗の拡大を検討する。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
太陽光発電	規模：5~10kW 導入場所：市内64店(累計)	平成30年度	導入済

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先の協力により、商品配送に伴う環境負荷の低減 配送車両に環境配慮型車両を導入 (CNG車・ハイブリッドトラック等の導入を継続する)
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドトラックの導入台数：760台 ・保冷ボックスの使用による納品時のエンジン停止
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドトラックの導入台数：835台 ・CNG車の導入台数：64台 ・EV車の導入台数：3台 ・保冷ボックスの使用による納品時のエンジン停止
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドトラックの導入台数：959台 ・CNG車の導入台数：19台 ・EV車の導入台数：3台 ・保冷ボックスの使用による納品時のエンジン停止

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗建設時の、建築資材の梱包簡素化による廃棄物削減 ・プラスチック原料の使用・廃棄の削減のため、レジ袋の使用削減活動を実施 ・容器包装の環境配慮を実施(間伐材・再生材の利用) ・おにぎりのパッケージの印刷を、環境に優しい植物性インキを使用したものに変更 ・環境負荷の軽減につながる商品に「COOL CHOICE」ロゴを表示 ・セブン-イレブン記念財団を通じた環境市民団体への助成活動 ・CSRレポートやホームページによる環境情報の発信
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗建設時の、建築資材の梱包簡素化による廃棄物削減 ・プラスチック原料の使用・廃棄を削減するため、レジ袋の使用量削減活動を実施 ・容器包装の環境配慮を実施(間伐材・再生材の利用) ・おにぎりのパッケージの印刷を、環境に優しい植物性インキを使用したものに変更 ・環境負荷の軽減につながる商品に「COOL CHOICE」ロゴを表示 ・セブン-イレブン記念財団を通じ、環境市民団体へ助成実施 ・CSRレポート・公式HP等を通じた情報発信、環境イベント等への出展 ・空調の適正温度設定維持のため、夏期期間にポロシャツ型ユニフォームを着用
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗建設時の、建築資材の梱包簡素化による廃棄物削減 ・プラスチック原料の使用・廃棄を削減するため、レジ袋の使用量削減活動を実施 ・容器包装の環境配慮を実施(間伐材・再生材の利用) ・おにぎりのパッケージの印刷を、環境に優しい植物性インキを使用したものに変更 ・環境負荷の軽減につながる商品に「COOL CHOICE」ロゴを表示 ・セブン-イレブン記念財団を通じ、環境市民団体へ助成実施 ・CSRレポート・公式HP等を通じた情報発信、環境イベント等への出展 ・空調の適正温度設定維持のため、夏期期間にポロシャツ型ユニフォームを着用
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗建設時の、建築資材の梱包簡素化による廃棄物削減 ・プラスチック原料の使用・廃棄を削減するため、レジ袋の使用量削減活動を実施 ・容器包装の環境配慮を実施(間伐材・再生材の利用) ・おにぎりのパッケージの印刷を、環境に優しい植物性インキを使用したものに変更 ・環境負荷の軽減につながる商品に「COOL CHOICE」ロゴを表示 ・セブン-イレブン記念財団を通じ、環境市民団体へ助成実施 ・CSRレポート・公式HP等を通じた情報発信、環境イベント等への出展 ・空調の適正温度設定維持のため、夏期期間にポロシャツ型ユニフォームを着用

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	15,743	t-CO ₂
(調)	15,312	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	250

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--